

循環浴槽系統内の過酸化水素洗浄

入浴者由来の汚れ（垢や皮脂など）が配管内やろ過機等に付着し、生物膜（バイオフィルム/ヌメリ）が生成されます。これは、通常おこなっている塩素管理で防ぐことは困難です。毎週おこなう高濃度塩素処理（スーパークロリネーション）に加えて年1回以上は循環浴槽系統内の洗浄を実施するようお勧め致します。

また、水質検査でレジオネラ菌が検出されてしまった場合は、循環配管等に付着した生物膜を一旦リセットするために過酸化水素による配管洗浄をおこないます。

■ 使用薬剤：過酸化水素（劇物の為、作業は専門業者へ委託）＋発泡剤＋二酸化塩素

■ 作業内容：①過酸化水素洗浄

②発泡剤洗浄

③中和

④排水

⑤水洗

※汚れが出なくなるまで
繰り返します。

⑥二酸化塩素処理

⑦排水

3剤による処理方法なので、一般的な過酸化水素のみの洗浄よりも効果をアップさせることができ、死水配管への通水作業もおこないますので、より安心です！

■ 作業時間：1日仕事となるため、休館日に実施することになります。



過酸化水素は使用量が多くなるため、循環できる最低レベルまで減水し、投入します。



投入後まもなく、循環系統内に付着していた汚れが出てきます。



入浴者数が多い施設や配管洗浄をおこなったことがない施設では、上記のようにかなりの汚れが出てきます。



最後に、より作業を完全なものとするために二酸化塩素処理をおこない、作業終了となります。